

2012.4.20  
中日

# 省エネ照明へ交換 4.2%

## 市民団体 県内公共施設を調査

愛知や岐阜などの二百人でつくる市民団体「電気を力エル計画」が県内市町村の公共施設や学校の節電策を調べたところ、電力消費が少ない照明器具に交換している施設は4.2%にとどまった。

この団体は、省エネ効果を高めた照明器具が98%に上った。設備更新をしない理由では「予算の確保が難しい」「費用対効果で不安がある」などの声があった。

省エネ型の空調設備への更新も、予定なしで、予算がなくても省電

を呼び掛けた。

調査は二、三月、全市町村にメールでアンケートを送って実施。五十四市町村のうち、61.1%の三十三市町村から回答を得た。